

資金運用委員会	資料8-1
第49回 (R3.9.28)	

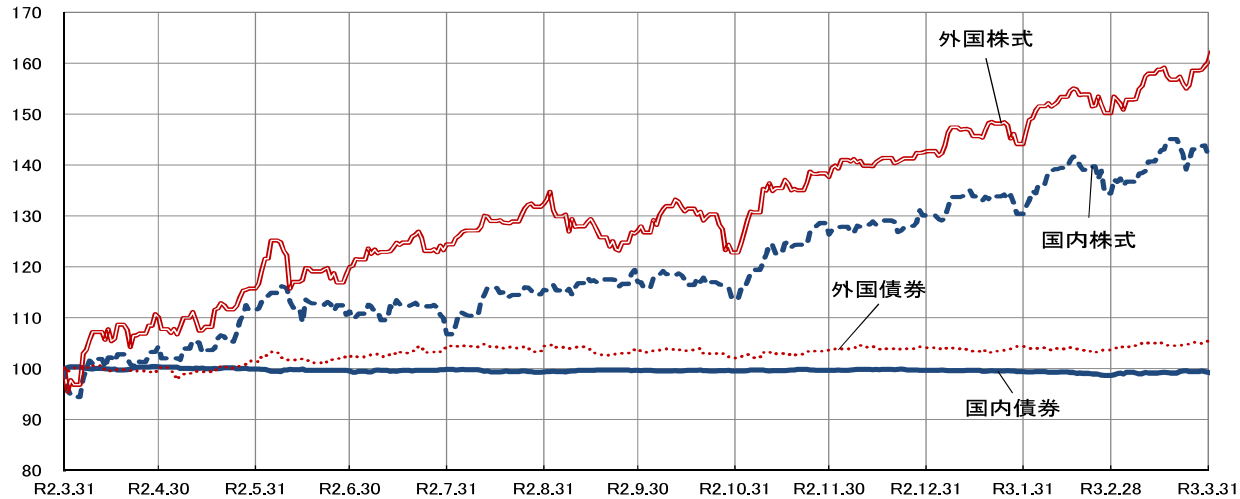
令和2年度及び令和3年度第1四半期 年金積立金の運用状況について

令和2年度

市場環境①

○ベンチマーク収益率の推移(全体)

年度の資産合計のベンチマーク収益率は、新型コロナウイルスのワクチン開発や米国の大型追加経済対策による景気回復期待などから、主に内外株式の大幅上昇が牽引して、+24.83%となりました。



(注) 令和2年3月31日を100とする。

資産区分	ベンチマーク	収益率				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度通期
国内債券	NOMURA-BPI総合	▲0.49%	0.17%	▲0.00%	▲0.38%	▲0.70%
国内株式	TOPIX(配当込み)	11.25%	5.17%	11.19%	9.25%	42.13%
外国債券	FTSE世界国債(除く日本、ヘッジなし・円ベース)	2.60%	0.81%	0.67%	1.27%	5.43%
外国株式	MSCI ACWI ex. JAPAN(円ベース、配当込み)	19.94%	5.97%	12.27%	12.27%	60.21%
合計		8.17%	3.13%	6.04%	5.53%	24.83%

(注) 合計は各資産のベンチマーク収益率を基本ポートフォリオの資産構成割合で加重平均した収益率です。

(出所) Bloomberg

令和2年度

市場環境②

国内債券市場

10年国債利回りは、4月に日銀の国債買入額目途撤廃などを受け一時的に▲0.05%まで低下した後は、概ね0%から0.05%で安定推移しました。年明け2月には、日銀の長期金利変動幅拡大観測や米国長期金利上振れなどから一時0.175%まで急上昇しました。その後、日銀は、長期金利変動幅を拡大しましたが、同時に金利の低位安定に配慮する姿勢を示したことから上昇幅を縮小する展開となりました。年度のベンチマーク収益率は▲0.70%となりました。

国内株式市場

国内株式は、世界各国での金融・財政政策の下支えを受け、年初の急落の反動もあり、6月半ばまで上昇基調となりました。夏場から秋口にかけては新型コロナウイルスの感染拡大などから上値が重い展開となりましたが、11月の米国大統領選挙で市場予想どおりバイデン氏が当確したことや、新型コロナウイルスのワクチン実用化に伴う景気回復期待などから一段と上昇しました。年度のベンチマーク収益率は+42.13%となりました。

外国債券市場

米国10年国債利回りは、大規模な金融緩和策により低水準で推移した後、大型追加景気対策やワクチン普及による景気回復期待などから、年明け以降急上昇しました。ドイツ10年国債利回りは、金融緩和強化とワクチン普及による景気回復期待などが交錯し、年内は概ね横ばい圏での推移となりました。その後、欧州経済指標改善や米国長期金利の上振れなどが影響して上昇しました。

為替はドル・ユーロともに円安となり、年度のベンチマーク収益率は+5.43%となりました。

外国株式市場

米国株式は、新型コロナウイルスのワクチン開発期待や米国経済指標の改善などから上昇基調となりました。秋口にかけて、欧州でのコロナ感染拡大や大統領選の不透明感から一時下落しましたが、米国追加経済対策やワクチン普及による景気回復期待から再び上昇しました。ドイツ株式は、EU復興基金設立などから上昇基調となりました。その後、感染拡大による行動制限強化などから一時下落しましたが、堅調な米国株式や欧州経済指標改善などから再び上昇しました。

年度のベンチマーク収益率は+60.21%となりました。

○ベンチマーク

国内債券：NOMURA-BPI総合 国内株式：TOPIX（配当込） 外国債券：FTSE世界国債（除く日本、ヘッジなし・円ベース） 外国株式：MSCI ACWI ex. JAPAN（円ベース、配当込み）

令和2年度

市場環境③

○市場指標

		令和2年3月末	令和2年6月末	令和2年9月末	令和2年12月末	令和3年3月末
国内債券	10年国債利回り (%)	0.01	0.03	0.02	0.02	0.12
国内株式	TOPIX配当込 (ポイント)	2,167.60	2,411.45	2,536.14	2,819.93	3,080.87
	日経平均株価 (円)	18,917.01	22,288.14	23,185.12	27,444.17	29,178.80
外国債券	米国10年国債利回り (%)	0.67	0.66	0.69	0.92	1.74
	ドイツ10年国債利回り (%)	▲ 0.47	▲ 0.45	▲ 0.52	▲ 0.57	▲ 0.29
外国株式	NYダウ (ドル)	21,917.16	25,812.88	27,781.70	30,606.48	32,981.55
	ナスダック (ポイント)	7,700.10	10,058.77	11,167.51	12,888.28	13,246.87
	ドイツDAX (ポイント)	9,935.84	12,310.93	12,760.73	13,718.78	15,008.34
	英国FTSE100 (ポイント)	5,671.96	6,169.74	5,866.10	6,460.52	6,713.63
外国為替	ドル／円 (円)	107.96	107.89	105.53	103.25	110.50
	ユーロ／円 (円)	118.45	121.17	123.75	126.33	129.87

(出所) Bloomberg

令和2年度

運用状況の概要(1) 資産構成割合

厚生年金保険給付組合積立金

資産区分	令和2年3月末	
	時価総額	構成割合
国内債券	22,149	42.4%
うち短期資産	4,399	8.4%
国内株式	11,310	21.7%
外国債券	8,063	15.4%
外国株式	10,702	20.5%
合計	52,225	100.0%

令和2年6月末	
時価総額	構成割合
17,394	33.7%
937	1.8%
12,633	24.5%
8,752	17.0%
12,841	24.9%
51,620	100.0%

令和2年9月末	
時価総額	構成割合
18,056	32.8%
2,998	5.4%
13,305	24.2%
10,109	18.4%
13,615	24.7%
55,086	100.0%

令和2年12月末	
時価総額	構成割合
14,475	25.8%
1,058	1.9%
14,769	26.3%
11,634	20.8%
15,185	27.1%
56,062	100.0%

(単位:億円)

令和3年3月末	
時価総額	構成割合
16,032	25.8%
4,561	7.3%
16,111	25.9%
13,435	21.6%
16,623	26.7%
62,201	100.0%

(参考)

基本ポートフォリオ	
中心値	許容乖離幅
25%	±20%
—	—
25%	±12%
25%	±9%
25%	±11%
100%	—

経過的長期給付組合積立金

資産区分	令和2年3月末	
	時価総額	構成割合
国内債券	20,092	37.9%
うち短期資産	559	1.1%
国内株式	12,400	23.4%
外国債券	8,840	16.7%
外国株式	11,692	22.1%
合計	53,024	100.0%

令和2年6月末	
時価総額	構成割合
19,025	33.8%
465	0.8%
13,859	24.6%
9,444	16.8%
14,030	24.9%
56,358	100.0%

令和2年9月末	
時価総額	構成割合
17,664	30.6%
551	1.0%
14,596	25.3%
10,586	18.3%
14,876	25.8%
57,722	100.0%

令和2年12月末	
時価総額	構成割合
15,928	26.3%
660	1.1%
16,194	26.7%
11,882	19.6%
16,587	27.4%
60,591	100.0%

(単位:億円)

令和3年3月末	
時価総額	構成割合
14,337	22.5%
566	0.9%
17,664	27.7%
14,165	22.2%
17,657	27.7%
63,823	100.0%

(参考)

基本ポートフォリオ	
中心値	許容乖離幅
25%	±20%
—	—
25%	±12%
25%	±9%
25%	±11%
100%	—

退職等年金給付組合積立金

※簿価

資産区分	令和2年3月末	
	簿価	構成割合
国内債券(短期除く)	4,460	97.4%
国内債券(短期資産)	120	2.6%
合計	4,581	100.0%

令和2年6月末	
簿価	構成割合
4,675	99.1%
41	0.9%
4,716	100.0%

令和2年9月末	
簿価	構成割合
5,006	99.3%
35	0.7%
5,041	100.0%

令和2年12月末	
簿価	構成割合
5,186	99.3%
38	0.7%
5,224	100.0%

(単位:億円)

令和3年3月末	
簿価	構成割合
5,511	98.3%
98	1.7%
5,609	100.0%

(参考)

基本ポートフォリオ	
100%	—

(注) それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

退職等年金給付組合積立金は、原則として、給付対応等で必要な短期資産を除く全額を国内債券に投資し、それを満期まで持ち切る運用を行うことから、簿価評価としている。

令和2年度

運用状況の概要(2)運用利回り

厚生年金保険給付組合積立金

※修正総合利回り

資産区分	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	令和2年度通期 (4-3月)
国内債券	▲0.19%	+0.28%	+0.16%	▲0.41%	▲0.13%
うち短期資産	+0.00%	+0.00%	+0.00%	+0.00%	+0.00%
国内株式	+11.83%	+5.31%	+10.91%	+9.01%	+41.97%
外国債券	+2.97%	+0.73%	+0.89%	+1.67%	+6.17%
外国株式	+20.02%	+6.00%	+12.03%	+12.07%	+59.17%
合計	+7.40%	+2.92%	+5.90%	+5.70%	+23.55%
ベンチマーク収益率	+8.17%	+3.13%	+6.04%	+5.53%	+24.83%
GPIF	+8.29%	+3.03%	+6.18%	+5.65%	+25.15%
地方公務員共済全体	+7.73%	+2.96%	+5.93%	+5.57%	+23.81%

経過の長期給付組合積立金

※修正総合利回り

資産区分	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	令和2年度通期 (4-3月)
国内債券	▲0.05%	+0.27%	+0.18%	▲0.26%	+0.17%
うち短期資産	+0.00%	+0.00%	+0.00%	+0.00%	+0.00%
国内株式	+11.90%	+5.31%	+10.86%	+8.99%	+41.93%
外国債券	+2.88%	+0.83%	+0.87%	+1.44%	+5.93%
外国株式	+20.02%	+6.00%	+12.03%	+11.92%	+58.91%
合計	+7.70%	+3.04%	+6.09%	+5.88%	+24.44%
ベンチマーク収益率	+8.17%	+3.13%	+6.04%	+5.53%	+24.83%
地方公務員共済全体	+7.87%	+3.02%	+6.07%	+5.66%	+24.32%

退職等年金給付組合積立金

※実現利回り

資産区分	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	令和2年度通期 (4-3月)
国内債券(短期除く)	+0.12%	+0.11%	+0.11%	+0.11%	+0.45%
国内債券(短期資産)	+0.00%	+0.00%	+0.00%	+0.00%	+0.00%
合計	+0.11%	+0.11%	+0.11%	+0.11%	+0.44%

(参考) ベンチマーク収益率

	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	通期 (4-3月)
国内債券	▲0.49%	+0.17%	▲0.00%	▲0.38%	▲0.70%
国内株式	+11.25%	+5.17%	+11.19%	+9.25%	+42.13%
外国債券	+2.60%	+0.81%	+0.67%	+1.27%	+5.43%
外国株式	+19.94%	+5.97%	+12.27%	+12.27%	+60.21%
合計	+8.17%	+3.13%	+6.04%	+5.53%	+24.83%

(参考) ベンチマーク収益率

	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	通期 (4-3月)
国内債券	▲0.49%	+0.17%	▲0.00%	▲0.38%	▲0.70%
国内株式	+11.25%	+5.17%	+11.19%	+9.25%	+42.13%
外国債券	+2.60%	+0.81%	+0.67%	+1.27%	+5.43%
外国株式	+19.94%	+5.97%	+12.27%	+12.27%	+60.21%
合計	+8.17%	+3.13%	+6.04%	+5.53%	+24.83%

(注)

修正総合利回り

$(\text{実現損益} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}) \div (\text{簿価平残} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益})$

実現利回り

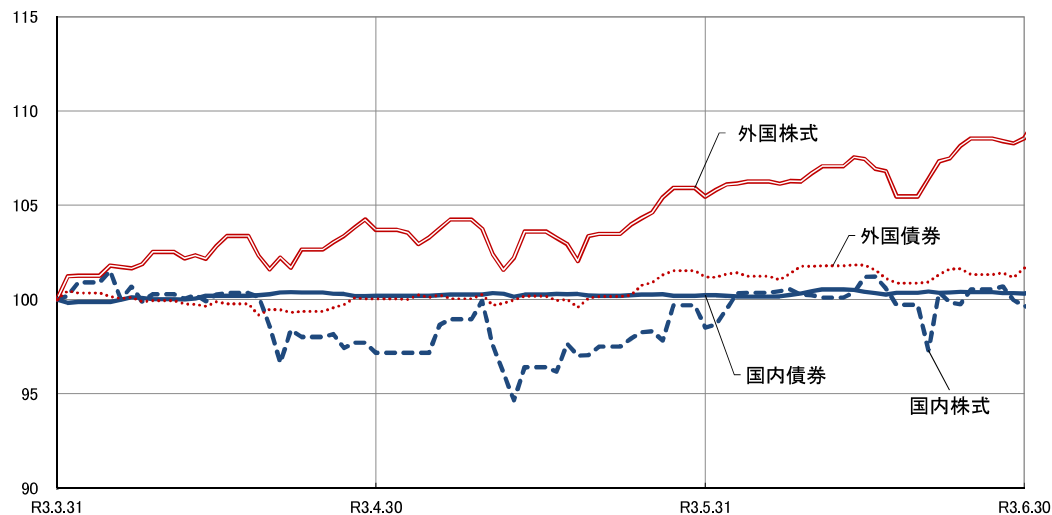
$(\text{実現損益} + \text{未収収益増減}) \div \text{簿価平残}$

令和3年度 第1四半期

市場環境①

○ベンチマーク収益率の推移(全体)

第1四半期の資産合計のベンチマーク収益率は、新型コロナウイルスのワクチン接種進展や欧米の堅調な経済指標などを受けて、主に外国株式の上昇が牽引し、+2.52%となりました。



(注) 令和3年3月31日を100とする。

資産区分	ベンチマーク	収益率			
		4月	5月	6月	第1四半期
国内債券	NOMURA-BPI総合	0.19%	0.05%	0.07%	0.31%
国内株式	TOPIX(配当込み)	▲2.84%	1.38%	1.19%	▲0.33%
外国債券	FTSE世界国債(除く日本、ヘッジなし・円ベース)	0.03%	1.17%	0.45%	1.65%
外国株式	MSCI ACWI ex. JAPAN(円ベース、配当込み)	3.70%	1.70%	2.93%	8.55%
合計		0.27%	1.07%	1.16%	2.52%

(注) 合計は各資産のベンチマーク収益率を基本ポートフォリオの資産構成割合で加重平均した収益率です。

(出所) Bloomberg

令和3年度 第1四半期

市場環境②

国内債券市場

10年国債利回りは、4月は一連の国債入札が好調であったことや新型コロナウイルスによる経済活動停滞懸念から、低下基調で推移しました。その後は、5月に強めの米国CPI（消費者物価指数）を受け、米国長期金利に連れて上昇する場面がありましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）による早期量的金融緩和縮小観測が後退すると再び低下する展開となりました。

第1四半期のベンチマーク収益率は+0.31%となりました。

国内株式市場

国内株式は、3度目となる緊急事態宣言（4都道府県）などによる経済活動停滞懸念に加えて、米国CPIを受けたインフレ懸念などから、5月上旬に米国株式に連動して一時大幅に下落しました。その後は、米国株式の反発や国内のワクチン大規模接種開始による経済正常化期待などから買われましたが、総じて上値が重い展開となりました。

第1四半期のベンチマーク収益率は▲0.33%となりました。

外国債券市場

米国10年国債利回りは、5月上旬までFRB議長発言などを受け金融緩和長期化観測から低下。その後、強めの米国CPIを受けたインフレ懸念により上昇しましたが、物価上昇は一時的との見方から再び低下する展開となりました。ドイツ10年国債利回りは、ワクチン接種進展やインフレ懸念から5月中旬頃まで上昇傾向となりました。その後、ユーロ圏の景気拡大期待とECB（欧州中央銀行）の金融緩和継続観測が拮抗し、もみ合いとなりました。

為替はドル・ユーロともに円安となり、第1四半期のベンチマーク収益率は+1.65%となりました。

外国株式市場

米国株式は、5月上旬に強めの米国CPIを受けたインフレ懸念により一時大幅に下落しました。その後は、FRBによる早期量的金融緩和縮小観測の後退に加えて、堅調な米国経済指標などから上昇基調で推移しました。ドイツ株式は、米国のインフレ懸念から一時下落しましたが、ワクチン接種進展による景気拡大期待やECBの金融緩和継続観測などから上昇基調で推移しました。

第1四半期のベンチマーク収益率は+8.55%となりました。

○ベンチマーク

国内債券：NOMURA-BPI総合 国内株式：TOPIX（配当込） 外国債券：FTSE世界国債（除く日本、ヘッジなし・円ベース） 外国株式：MSCI ACWI ex. JAPAN（円ベース、配当込み）

令和3年度 第1四半期

市場環境③

○市場指標

		令和3年3月末	令和3年4月末	令和3年5月末	令和3年6月末
国内債券	10年国債利回り (%)	0.12	0.09	0.08	0.05
国内株式	TOPIX配当込 (ポイント)	3,080.87	2,993.46	3,034.76	3,070.81
	日経平均株価 (円)	29,178.80	28,812.63	28,860.08	28,791.53
外国債券	米国10年国債利回り (%)	1.74	1.63	1.60	1.47
	ドイツ10年国債利回り (%)	▲ 0.29	▲ 0.20	▲ 0.19	▲ 0.21
外国株式	NYダウ (ドル)	32,981.55	33,874.85	34,529.45	34,502.51
	ナスダック (ポイント)	13,246.87	13,962.68	13,748.74	14,503.95
	ドイツDAX (ポイント)	15,008.34	15,135.91	15,421.13	15,531.04
	英国FTSE100 (ポイント)	6,713.63	6,969.81	7,022.61	7,037.47
外国為替	ドル/円 (円)	110.50	109.31	109.40	110.99
	ユーロ/円 (円)	129.87	131.58	133.75	131.62

(出所) Bloomberg

令和3年度 第1四半期

運用状況の概要(1) 資産構成割合

厚生年金保険給付組合積立金

資産区分	令和3年3月末		(単位:億円) 令和3年6月末		(参考) 基本ポートフォリオ	
	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	中心値	許容乖離幅
国内債券	16,032	25.8%	12,357	20.7%	25%	±20%
うち短期資産	4,561	7.3%	831	1.4%	—	—
国内株式	16,111	25.9%	16,105	27.0%	25%	±12%
外国債券	13,435	21.6%	13,718	23.0%	25%	±9%
外国株式	16,623	26.7%	17,387	29.2%	25%	±11%
合計	62,201	100.0%	59,567	100.0%	100%	—

経過的長期給付組合積立金

資産区分	令和3年3月末		(単位:億円) 令和3年6月末		(参考) 基本ポートフォリオ	
	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	中心値	許容乖離幅
国内債券	14,337	22.5%	14,024	21.6%	25%	±20%
うち短期資産	566	0.9%	185	0.3%	—	—
国内株式	17,664	27.7%	17,669	27.2%	25%	±12%
外国債券	14,165	22.2%	14,409	22.2%	25%	±9%
外国株式	17,657	27.7%	18,800	29.0%	25%	±11%
合計	63,823	100.0%	64,901	100.0%	100%	—

退職等年金給付組合積立金

資産区分	令和3年3月末		(単位:億円) 令和3年6月末		(参考) 基本ポートフォリオ	
	簿価	構成割合	簿価	構成割合		
国内債券(短期除く)	5,511	98.3%	5,704	99.3%	100%	
国内債券(短期資産)	98	1.7%	40	0.7%		
合計	5,609	100.0%	5,743	100.0%		

(注) それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

退職等年金給付組合積立金は、原則として、給付対応等で必要な短期資産を除く全額を国内債券に投資し、それを満期まで持ち切る運用を行うことから、簿価評価としている。

令和3年度 第1四半期

運用状況の概要(2)運用利回り

厚生年金保険給付組合積立金

※修正総合利回り

資産区分	第1四半期 (4-6月)
国内債券	+0.41%
うち短期資産	+0.00%
国内株式	▲0.04%
外国債券	+1.76%
外国株式	+8.32%
合計	+2.79%
ベンチマーク収益率	+2.52%
GPIF	+2.68%
地方公務員共済全体	+2.62%

(参考) ベンチマーク収益率

	第1四半期 (4-6月)
国内債券	+0.31%
国内株式	▲0.33%
外国債券	+1.65%
外国株式	+8.55%
合計	+2.52%

経過的長期給付組合積立金

※修正総合利回り

資産区分	第1四半期 (4-6月)
国内債券	+0.51%
うち短期資産	+0.00%
国内株式	+0.03%
外国債券	+1.73%
外国株式	+8.37%
合計	+2.84%
ベンチマーク収益率	+2.52%
地方公務員共済全体	+2.65%

(参考) ベンチマーク収益率

	第1四半期 (4-6月)
国内債券	+0.31%
国内株式	▲0.33%
外国債券	+1.65%
外国株式	+8.55%
合計	+2.52%

退職等年金給付組合積立金

※実現利回り

資産区分	第1四半期 (4-6月)
国内債券(短期除く)	+0.11%
国内債券(短期資産)	+0.00%
合計	+0.10%

(注)

修正総合利回り

(実現損益+未収収益増減+評価損益増減)÷(簿価平残+前期末未収収益+前期末評価損益)

実現利回り

(実現損益+未収収益増減)÷簿価平残